

軽米町総合発展計画策定専門部会(軽米町若者会議) 意見及び検討結果一覧

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
第1回若者会議 子育て部会 (アンケート含む)						
1	第3章第1節 子育て支援環 境の充実	現状・課題	核家族が多くなり誰にも相談できないよ うになっている。特に乳幼児の母親のメ ンタル面での不安がある。それを解消 するための保健師さんの訪問は良かった。	健康福祉課	B (趣旨同一):意見と計画 案の趣旨が同一であり、 計画案の修正が必要ないもの	現在、子育て世代包括支援センターを中心に訪問事業(乳 児全戸、養育支援訪問)、相談事業を実施しており、今後と も継続していきます。
2	第3章第1節 子育て支援環 境の充実	現状・課題	医療費の対象年生拡大は良かった、保 育料と給食費の無償化への取り組みも 良いので、継続してほしい。	町民生活課 ○健康福祉課 教育委員会	B (趣旨同一):意見と計画 案の趣旨が同一であり、計 画案の修正が必要ないもの	子育て世代の負担軽減を図るため高校生までの医療費助 成を継続するとともに、幼児教育・保育施設の利用軽減に 向け保育料、副食費の無償化を検討していきます。
3	第3章第1節 子育て支援環 境の充実	現状・課題	児童クラブに通うために、タクシーの乗 り合いも行っており、大変助かった。	健康福祉課	B (趣旨同一):意見と計画 案の趣旨が同一であり、計 画案の修正が必要ないもの	放課後児童クラブについては、場所や人員の確保が難し いため町内1カ所まで運営しており、今後も小軽米、晴山小 学校児童のタクシー運行を継続する予定です。また、ニー ズに合わせ、開設時間や開設場所等について検討し、更 なる充実に努めていきます。
4	第3章第1節 子育て支援環 境の充実	現状・課題	ピョピョ広場は月齢が近い子どもの親 がいて、色々話し合うことができても 良かった。軽米交流駅にそのような施設 が出来たら、利用しやすくなると思う。	健康福祉課	B (趣旨同一):意見と計画 案の趣旨が同一であり、計 画案の修正が必要ないもの	乳幼児とその保護者の相互の交流の場として、子育て支 援拠点事業(ピョピョ広場)を継続していきます。また、軽 米交流駅(仮称)の建設と併せ、開設時間や開設場所の検 討し、更なる充実に向け努めていきます。
5	第3章第1節 子育て支援環 境の充実	現状・課題	児童虐待の心配もある。周りの人の目 や連絡の窓口で早期発見をしていくこ とが大切である。	健康福祉課	A (計画反映):意見の内容の 全部を反映し、計画案を修 正したもの	軽米町要保護児童地域協議会における連携や、健診、訪 問事業の他、児童虐待について広報等により広く町民の 理解を深めることで、早期発見、未然防止に努めていきま す。 (主要施策(6)に追記しました。)
6	第3章第1節 子育て支援環 境の充実	現状・課題	放課後児童クラブについてであるが、狭	健康福祉課	B (趣旨同一):意見と計画 案の趣旨が同一であり、計 画案の修正が必要ないもの	現在、児童クラブは勤労福祉センターで開設していま すが、今後、開設場所や時間等について検討していきたく と思います。
7	第3章第1節 子育て支援環 境の充実	現状・課題	土日の過ごし方が課題である。我が家 は子ども3人で、家の中でしか遊べな い。	健康福祉課	C (参考):計画案を修正しな いが、個別施策等の事業実 施段階で参考とするもの	

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
8	第3章第1節 子育て支援環境 の充実	現状・課題	産後に職探しをする時、保育園に預ける事ができなかった。田舎で待機児童になるとは思わず驚いた。	健康福祉課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	
9	第3章第1節 子育て支援環境 の充実	現状・課題	他市町村は保育園の数が多く選択肢があるが、軽米町には町立の保育園しかない。保育園側は競争がないため現状に満足し、保育の質を高めようという努力が感じられない。同じ保育料を払うなら質の良い保育所を選びたい。	健康福祉課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	現在、軽米町の保育園は、公立の施設のみとなっております。各施設において、野外保育の実施等、特色ある取り組みを実施していますが、今後、新たな認定こども園での行事の検討など、各施設ともに保育士と連携し幼児教育・保育の質の向上に向け努力していきます。
10	第3章第1節 子育て支援環境 の充実	取組アイデア	軽米交流駅にピヨピヨ広場のような子育て施設が出来たら、利用しやすくなると思う。新しくピヨピヨ広場が整備されるとしたら、盛岡市のアイーナのように全面ガラスとなっていて、ピヨピヨ広場の外で親が休憩や団欒をしても、子どもが何をしているかわかるようにすると良い。	健康福祉課	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	現在、整備中である軽米交流駅(仮称)の建設と併せ、ピヨピヨ広場の開設時間・場所等、検討していく予定です。
11	第3章第1節 子育て支援環境 の充実	取組アイデア	室内遊び場があれば良い。	健康福祉課 教育委員会	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	子ども会などの団体活動であれば各学校の体育館を利用できますので教育委員会までご相談ください。また、個人利用の場合は有料(児童生徒:2時間40円)ですが町民体育館も利用できますのでご活用いただければと思います。
12	第3章第1節 子育て支援環境 の充実	取組アイデア	広い公園、遊具のある公園が良い。ハートフルの近くが良い。色々な世代が遊べる場所となることを望む。	健康福祉課	A (計画反映):意見の内容の全部を反映し、計画案を修正したもの	子どもが安心して利用できる公園整備を望む声は多い状況です。設置場所や財源の確保、管理体制等、検討課題を整理し、早期実現に向け取り組んでいきます。(目標に、公園の整備に係る文章を追加しました)
13	第3章第1節 子育て支援環境 の充実	取組アイデア	遠くに行かなくても、遊ぶことが出来る公園があると良い。町外からも来てもらう施設になると良い。	健康福祉課	A (計画反映):意見の内容の全部を反映し、計画案を修正したもの	No.12に同じ
14	第3章第1節 子育て支援環境 の充実	取組アイデア	秋田県鹿角市では、特に用事がなくても一時的な預かり保育の制度があった。このような場所が軽米にあると良い。	健康福祉課	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	軽米保育園の認定こども園化に伴う子育て支援事業の一環として、一時預かり事業の実施に向け検討していきます。
15	第3章第1節 子育て支援環境 の充実	取組アイデア	核家族が多くなっているなので、ちょっとした預かりサポート体制があれば良い。病児保育の預かり体制もほしい。	健康福祉課	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	子育て支援事業の一環として、病児・病後児保育事業の実施に向け検討していきます。

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
16	第3章第1節 子育て支援環境 の充実	取組アイデア	休園になる幼稚園などの施設を使っ て、子どもを預ける場を作っても良い。	健康福祉課	C (参考): 計画案を修正しな いが、個別施策等の事業実 施段階で参考とするもの	令和2年度で閉園となる軽米幼稚園施設の利活用につ いては、現在段階では、令和3年4月に軽米保育園から移行 する認定こども園での臨時的な活用を検討しているところ です。今後、ご提案のありました活用方法も含め、関係機 関等と協議のうえ検討していきます。
17	第3章第1節 子育て支援環境 の充実	取組アイデア	軽米町は子育て支援が充実しているの で、町外にももっと子育て情報を発信 し、PRしていくことが重要である。そうす ることで軽米に住みたいと思う人も多 くなる。	健康福祉課	C (参考): 計画案を修正しな いが、個別施策等の事業実 施段階で参考とするもの	現在、町のホームページのバナー【子育てサポートかるま い】において、子育て関連情報を提供しています。今後、 ホームページ編集の検討、SNSの活用など、更なるPRに 向け検討していきます。
18	第3章第1節 子育て支援環境 の充実	取組アイデア	月1回の野外保育の他にも外部から講 師等と呼び、英語、リトミック、体操等 を学ばせてもらえると保育の質が向上 するのではないかと思います。	健康福祉課	B (趣旨同一): 意見と計画案 の趣旨が同一であり、計画 案の修正が必要ないもの	現在、軽米幼稚園では、講師を招いてのボール遊び、お茶 会、ALTによる英会話等の活動をしており、来年度、認定こ ども園においても一部継続し実施する計画としています。 今後、ご提案のあった事項についても参考に、幼児教育・ 保育の充実に向け、取り組んでいきたいと思ひます。
19	第3章第1節 子育て支援環境 の充実	取組アイデア	現在、町で補助している「保育園同時入 園」、「2人目無料」の制度はとてもあり がたいが、少子化の中、この制度の枠 からもれている家庭にも何らかの補助 があってもいいのではないかと思います。	健康福祉課	C (参考): 計画案を修正しな いが、個別施策等の事業実 施段階で参考とするもの	過去に、在宅保育者への支援等を検討した経緯がありま すが、財政面での理由から実施に至りませんでした。子育 てに係る経済的支援については、今後財源等を含め検討 していきたいと思ひます。
20	第3章第2節 教育の充実	現状・課題	現計画(案)の内容でも良い。取り組み が充実していてワクワクするものとなっ ている。	教育委員会	E (その他) 計画案の修正や 今後の対応が不要なその 他の意見	
21	第3章第2節 教育の充実	現状・課題	現在も新しい取組みも多く行っており、 農家さんでの体験も良いので継続して ほしい。	教育委員会	B (趣旨同一): 意見と計画案 の趣旨が同一であり、計画 案の修正が必要ないもの	キャリア教育の職場体験で継続実施します。
22	第3章第2節 教育の充実	現状・課題	少子化で1クラスの数人が少なくなっ ているが、ひとり一人に対して先生の手が 回って良い。	教育委員会	B (趣旨同一): 意見と計画案 の趣旨が同一であり、計画 案の修正が必要ないもの	個に応じた習熟度別学習指導等のため、学力向上支援員 を配置し、わかる授業づくりを継続して支援します。
23	第3章第2節 教育の充実	現状・課題	肥満の子が多くなっていることは課題で ある。地域の中にスポ少がなく、入れな い状態でもある。晴山小にはない。	教育委員会	B (趣旨同一): 意見と計画案 の趣旨が同一であり、計画 案の修正が必要ないもの	学校では、保護者面談などでそれぞれに応じた肥満指導 を行っており、今後も家庭と連携を図りながら肥満対策を 進めていきたいと思ひます。また、子供達が体を動かしス ポーツに取り組むきっかけになるような事業についても検 討していきたいと考えています。

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
24	第3章第2節 教育の充実	現状・課題	神楽など郷土芸能を学校でやっているのは良い。祭りや伝統芸能に触れる機会を設けることで、将来軽米町に戻ってくる可能性も出る。	教育委員会	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	伝統芸能の継承のため、各学校で郷土芸能体験に取り組んでいます。地元に戻りたいと思う一つのきっかけになる可能性があることから、今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。
25	第3章第2節 教育の充実	現状・課題	現在の子供も達は、昔に比べてやるべきことが多すぎて大変そうな印象がある。	教育委員会	E (その他)計画案の修正や今後の対応が不要なその他の意見	学校や学校以外での活動が増え、子供達の負担は大きくなっているかもしれません。子供達に負担を感じさせないように、保護者や関係者の皆さんと協力しながらサポートしていきたいと思えます。
26	第3章第2節 教育の充実	現状・課題	コミュニティスクールを設置し、地域を巻き込みながら子どもの教育環境を整えることは良い。	教育委員会	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	今後、各学校に学校運営協議会を設置し、地域とともにある学校運営を目指します。
27	第3章第2節 教育の充実	取組アイデア	スマートフォンの使い方については、情報リテラシーやモラルの課題がある。町でも対応もしてほしい。	教育委員会	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	ICTを活用した指導力の向上と併せ、情報モラル教育の指導力の向上を図ります。
28	第3章第2節 教育の充実	取組アイデア	小中学校での連携があれば良い。中学校に上がってもストレスなく、中学生生活を営める。また、中高の連携も良くする必要があり。軽米高校の紹介などを行い、軽米高校に進学しやすくする取り組みが考えられる。	教育委員会	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	小学校と中学校の連携により、小中9年間を見通した系統性、計画性のある教育課程の編成を推進します。中高一貫教育による特色ある学校づくりを進め、軽米高校の存続を支援します。
29	第3章第2節 教育の充実	取組アイデア	中高生のリーダー研修会を行い、新しいリーダーづくりを行っても良い。	教育委員会	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	地域における青少年活動の活性化を図るため、中高生のジュニアリーダーの育成に努めます。
30	第3章第2節 教育の充実	取組アイデア	小学校では、ダンスなど新しい取り組みを行うことも良い。	教育委員会	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	各学校において、体育授業の表現運動の中で取り入れていくことも検討します。
31	第3章第2節 教育の充実	取組アイデア	就職先として、福祉分野で働ける場をつくってほしい。高齢者(認知症患者等)との関わりの機会を設けて、就職へのきっかけづくりを行えると良い。	教育委員会 健康福祉課	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	キャリア教育の職場体験や、孫世代のための認知症講座など、高齢者との関わりの機会となる事業を継続していきます。

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
32	第3章第2節 教育の充実	取組アイデア	高校に進学する際、レベルの高い高校で部活を続けたいと考えた時、どうしても町外の高校へ進学してしまうことがある。軽米高校にレベルの高い指導者がいれば続けられる。	教育委員会	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	部活動支援も含め、軽米高校存続に向けた取組に対し、高校と協議しながら総合的に支援します。
33	第3章第2節 教育の充実	取組アイデア	外国人の先生は様々な国の人が入っても良い。色々な文化を知るきっかけにもなるし、軽米を発信する機会にもなる。	教育委員会	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	外国語指導助手については、英語圏の人にはなりますが国を限定することなく配置しています。中高生海外派遣事業と併せて、英語力の向上、さまざまな異文化を知る機会として、今後も継続していきます。
34	第3章第2節 教育の充実	取組アイデア	祭りは、町外に転出した人が戻ってくるチャンスでもあるので、そこを意識して、学校での郷土芸能体験に力を入れても良い。	教育委員会	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	祭りは、町出身者が楽しみにしているイベントの一つだと思います。今後も、各学校での郷土芸能体験に取り組んでいきたいと思っています。
35	第3章第2節 教育の充実	取組アイデア	交換留学をすることで国際交流をしても良い。	教育委員会	D (対応困難):計画への反映が困難なもの	義務教育である中学生の長期の交換留学は、外国との教育制度の違いなどから難しいと考えられます。相手側の教育制度が合えば、高校段階では可能かもしれませんが今後の参考にさせていただきます。
36	第3章第2節 教育の充実	取組アイデア	子どもたちが、自由に集まり勉強ができる場があれば良い。	教育委員会	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	町中心部では町立図書館が利用できますのでご活用ください。中心部以外においては、地域の要望に応じてどのような方法がよいか検討したいと思います。
37	第3章第2節 教育の充実	取組アイデア	いじめや不登校の子どもへのメンタル対策も必要である。	教育委員会	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	いじめの未然防止、早期発見、早期対応のため、学校で組織的な対応に努めます。不登校児童生徒や保護者に対しては、教育相談員やスクールソーシャルワーカーによる面談や家庭訪問、スクールカウンセラーによるカウンセリングなどの支援を行います。また、状況に応じ福祉担当課や児童相談所等と連携し対応します。
38	第3章第2節 教育の充実	取組アイデア	子どもの発育状況について悩んでいる親も多い。町としても相談窓口のPR(声かけ)をしても良い。	教育委員会 健康福祉課	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	教育委員会では、毎月1回教育相談会を実施し、また、学校生活において特別な支援を要する児童生徒のサポートのため、特別支援員を配置し支援しています。子育て世代包括支援センター「めぐかる」では、乳幼児健診、訪問、電話相談、教室、発達相談等さまざまな方法で支援を行っています。広報やホームページの他、今後はSNSを活用した情報発信も検討します。

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
第1回若者会議 産業部会（アンケート含む）						
39	第4章第1節 かるまいブランド の推進	ブランド化の課 題	農産物のブランド化について個人的に JASの有機認定を受けているが、個別 に行うには生産性や人手不足の問題も あり限界がある。町全体で取り組む必 要がある。	産業振興課	B (趣旨同一):意見と計画案 の趣旨が同一であり、計画 案の修正が必要ないもの	ブランド化以前の人手不足の諸課題は有ると思いますが、 消費者ニーズの傾向を調査しながら商品開発と地域ブラン ドの確立を図っていきます。
40	第4章第1節 かるまいブランド の推進	ブランド化の課 題	循環型の酪農を目指し、刈り取った草 を乳牛に与えて安心安全の生乳を生産 しても、結局、農協が集めて大きなプラ ントで殺菌処理などをするため、結果的 に他の牛乳と混ぜられることから個人 の努力だけでは牛乳のブランド化は難 しい。	産業振興課	C (参考):計画案を修正しな いが、個別施策等の事業実 施段階で参考とするもの	意見のとおりと思われ、個人の努力だけでは牛乳のブラン ド化は、難しい状況と思われま。
41	第4章第1節 かるまいブランド の推進	ブランド化の課 題	木炭も個人で販売することはなく県の 協会を通じて販売するので県産表示と なる。個人で販売するには納品が大変 になる。	産業振興課	B (趣旨同一):意見と計画案 の趣旨が同一であり、計画 案の修正が必要ないもの	軽米町木炭生産協同組合分は、岩手県木炭協会に出荷し 地理的表示(GI)登録品として販売されています。
42	第4章第1節 かるまいブランド の推進	ブランド化の課 題	ミル・みるハウスのメニューなど、ソフト クリーム以外にももっと地元産の野菜 やフルーツをつかったスムージーやパ フェ等のご当地メニューが増えると良 い。小学生～高校生が考えたメニュー や、食材を使った作品等をイベントに出 すことで、親や親族等の集客効果があ り、購買につながると思う。	○産業振興課 健康福祉課	A (計画反映):意見の内容の 全部を反映し、計画案を修 正したもの	料理コンテスト等を実施し、親しみと興味を持っていただ くことが大切と考え、以下を主要施策(1)に追記します。 「かるまいブランドの新たな活用方法、また地元産品を 活かしたアイデアなどを募集しながら、地元根差した特 産品開発を進めます。」
43	第4章第1節 かるまいブランド の推進	ブランド化の課 題	新しく軽米ブランドの木炭を作っても、 軽米木炭協会と卸問屋との協議による 製作となるため、地域経済への効果は 期待できないと思う。	産業振興課	C (参考):計画案を修正しな いが、個別施策等の事業実 施段階で参考とするもの	岩手県木炭協会が地理的表示(GI)保護制度に登録した ことにより、軽米町木炭生産協同組合出荷分もGI登録品と なっており、ブランド力アップと安定収入が図られていま す。
44	第4章第1節 かるまいブランド の推進	ブランド化の課 題	軽米の肉・野菜・雑穀などを加工できる 工場があると良い。町には高速道路が あり、全国に配達できるお弁当などを作 ることができる。	産業振興課	C (参考):計画案を修正しな いが、個別施策等の事業実 施段階で参考とするもの	6次産業化を目指していますが、乗り越えるべき課題(労働 力確保・農産物の安定供給)も多く、今のところ一貫生産と なるような農産物加工施設は無い状況です。陸路の交通 便の良さから、安全安心な農産物を流通させ信頼を持 続向上させることから繋がっていくことと期待しています。

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
45	第4章第1節 かるまいブランド の推進	エコ・SDGs・循 環型農業ブラン ドの構築	コメ農家が稲わらを酪農家に提供して 堆肥を得る耕畜連携は町内でも広く行 われている。	産業振興課	B (趣旨同一):意見と計画案 の趣旨が同一であり、計画 案の修正が必要ないもの	現在も耕畜連携が図られており、今後も継続していきま す。
46	第4章第1節 かるまいブランド の推進	エコ・SDGs・循 環型農業ブラン ドの構築	養鶏場の鶏糞を資源として発電し、売 電しているが、発電時に発生する熱に つては未利用となっている。	産業振興課 ○再エネ室	B (趣旨同一):意見と計画案 の趣旨が同一であり、計画 案の修正が必要ないもの	既存の鶏糞バイオマス発電では構造上、売電のみで熱利 用はされていませんが、新たな施設整備の際に熱利用に ついても活用を検討しています。
47	第4章第1節 かるまいブランド の推進	エコ・SDGs・循 環型農業ブラン ドの構築	キャンプブームが到来しているので、 キャンパーらに木炭と一緒に地産地消 セットで売れないものかと思っている。	産業振興課	B (趣旨同一):意見と計画案 の趣旨が同一であり、計画 案の修正が必要ないもの	フォリストパークとミレットパークのキャンプ場において、 指定管理者と協議しながら一体的な販売等も促します。
48	第4章第1節 かるまいブランド の推進	シティ・プロモー ション(地域愛着 度の形成)	乳製品としてチーズを自家生産しており、 地域住民に愛される商品としてブラン ド化していきたいので、学校給食など でもぜひ取り上げてもらいたい。	○産業振興課 教育委員会	C (参考):計画案を修正しな いが、個別施策等の事業実 施段階で参考とするもの	給食の食材に地元産食材を使用することは食育の観点から 大切ですが、チーズについては現在のところ必要量が少 ない状況です。納入形態、使用可能な献立などの検討が 必要になりますが、1食当りの単価設定に見合う価格であ れば利用も可能と考えます。 地産地消の推進のためにも、食フェスタなどのイベントを 活用しながら情報提供できる機会の創出に努めます。
49	第4章第1節 かるまいブランド の推進	世界を目指すブ ランドづくり	現在では大小さまざまな農業に関わる 認証制度があるが、東京オリンピックの 機会を活かし、SDGsとの親和性も高 いグローバルGAPなどの世界的な認 証を目指したほうがいい。	産業振興課	C (参考):計画案を修正しな いが、個別施策等の事業実 施段階で参考とするもの	ブランド力強化には、グローバルGAP認証の取得は最高 の結果をもたらすと思いますが、生産方法や管理体制など 多くのことが求められ、総合的に統括するような大きな組 織が必要と考えます。現段階では、国内向けGAP認証制 度もあることから、そちらから始めて品質証明を獲得すると ともに知名度を向上していくことに注視していきたいと思 っています。
50	第4章第1節 かるまいブランド の推進	世界を目指すブ ランドづくり	「ハイキュー！！」は世界的に人気のア ニメなので、これを最大限に生かして軽 米産を海外に売り込んではどうか。	○産業振興課 総務課	D (対応困難):計画への反映 が困難なもの	漫画ハイキューについては、著作権の問題等から、現段 階では有効に活用できない状況です。活用の可能性につ いては今後も継続して検討していきたいと思います。
51	第4章第1節 かるまいブランド の推進	地域商社を核と する地域ブラン ドづくり	自社の製品をネット販売している農家も あるが、段ボールに「軽米」の名前を入 れても「軽米ってどこ？」と言われること がまだまだ多い。	産業振興課	B (趣旨同一):意見と計画案 の趣旨が同一であり、計画 案の修正が必要ないもの	知名度を上げるためにも、物産展・HP・SNS等のPRを 継続的に促進しながら支援を進めていきます。

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
52	第4章第1節 かるまいブランド の推進	地域商社を核と する地域ブランド づくり	現状では(株)軽米町産業開発が軽米産 の農産物などを広くネット販売している が、物語性のある売り方までには行って いない。	産業振興課	B (趣旨同一):意見と計画 案の趣旨が同一であり、計 画案の修正が必要ないもの	現在、産業開発のホームページ「かるまいさん」で、町内 の特産品等をネット販売しています。 今後、町の地理・風土・文化・歴史等の特徴を活かし、モ ノを売りながら町のイメージを届けられるよう、工夫を凝ら す取り組みを促します。
53	第4章第2節 農林畜産業の振 興	農林畜産業の課 題	先のことを考えたくても後継者問題がい つもネックになる。	産業振興課	B (趣旨同一):意見と計画 案の趣旨が同一であり、計 画案の修正が必要ないもの	農業者は減少していますが、農業経営の安定を図り農業 者のためとなる施策を展開していきます。後継者問題に関 しては親元就農給付金事業による交付金により、親元就 農者の農業経営継承を支援していきます。また、次世代人 材投資事業にあっても、給付金を交付して新規就農者の 支援をしています。
54	第4章第2節 農林畜産業の振 興	農林畜産業の課 題	6次産業など生産だけでなく加工や販 売も考えると一戸の農家では限界が ある。6次産業化を進めるなら法人化し て規模を拡大していく必要がある。	産業振興課	B (趣旨同一):意見と計画 案の趣旨が同一であり、計 画案の修正が必要ないもの	法人化と規模拡大は必須と考えていますが、商品開発と ブランド力も継続的な経営には重要なものであることから、 総合的に推進していきたいと考えています。
55	第4章第2節 農林畜産業の振 興	農林畜産業の課 題	木炭生産者の若い人材が少ない。私 より若い人は、47歳が2名、30代前半が 1名、の3名しか知らない。いずれも親 の代から続いている後継者である。親 戚が木炭生産を始めたが、初期設備 (炭窯2基、作業小屋、作業機械一式) 投資に300万円かかったと言っていた。 他の産業より初期設備投資額が少ない と思うが、安くはない。現在は原木の買 い付けに不安がある。軽米町には山か ら原木を切り出す業者が数社あるが、 町外の業者もかなり軽米町で伐採を 行っており、今ある業者や新規業者へ のテコ入れも考えてもらいたい。	産業振興課	C (参考):計画案を修正しな いが、個別施策等の事業実 施段階で参考とするもの	原木の買い付けについては、軽米町広葉樹里山森林資源 活用事業補助金制度があり、森林組合の斡旋を受けて、 広葉樹等の山林の原木を購入する経費に対し補助を実施 しています。 また、制度について業者等に周知していきます。
56	第4章第2節 農林畜産業の振 興	サプライチェーン の維持	木炭業者は原料となる木材を自ら伐採 することは少なく、木材供給は業者頼み になることが多い。このため林業の経営 が安定してくれないと木炭業の継続も 困難になる。	産業振興課	B (趣旨同一):意見と計画 案の趣旨が同一であり、計 画案の修正が必要ないもの	森林整備計画に基づいた林業振興を図るなかで、森林を 健全な状態に育成し、循環させるという質的充実に向けた 森林整備を推進するとともに、森林経営管理制度による、 林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を図ってい きます。

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
57	第4章第2節 農林畜産業の振興	エコ・SDGs・循環型農業による魅力づくり	町外から新規で就農したくなる仕組みや魅力づくりが必要であり、循環型農業はSDGsの普及に伴って魅力的なものになってきている。	産業振興課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	新規就農者の発掘には大変苦慮するものとなっています。魅力的な農業経営には、安定した収入が欠かせないものと考えます。エネルギーの循環と全人類的な発想での目標は賛同するものでありますが、農業と他事業体とのマッチングが叶った時に魅力的なものとなると思われます。
58	第4章第2節 農林畜産業の振興	農業におけるAIoT化	野菜の水やりや温度管理だけではなく、自動草刈などがあると良いと思う。	産業振興課	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	現在、国策としてスマート農業の実証試験が行われており、結果として自動操舵システムや作業用ロボットがメーカーより販売されています。省力化や高品質生産を図れるよう支援していきます。
59	第4章第3節 商工業の振興	商工業の課題	例年、秋まつりは盛大で町外からもたくさんの方の来客があったが、今年は新型コロナウイルスの影響で中止になった。	産業振興課	E (その他)計画案の修正や今後の対応が不要なその他の意見	これからは、新たな生活様式を取り入れたイベントの開催も視野に入れながら、活性化に努めていきます。
60	第4章第3節 商工業の振興	商工業の課題	町内の商店街だと知り合いなどと顔を合わせることで多く、ゆっくり楽しめないケースもあるので、利用する機会が減ってしまっている。	産業振興課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	皆が楽しめる商店街になるよう、商工会と連携を図りながら努めて参ります。
61	第4章第3節 農林畜産業の振興	商工業の課題	企業誘致の中には、知らない人たちが急に町に増える恐れもあるので、いいことばかりとは思わない。	再エネ	E (その他)計画案の修正や今後の対応が不要なその他の意見	雇用創出に向けて企業誘致を推進していきたいと考えています。なお、企業誘致を進める際には、町民の積極的な雇用を促進していきたいと考えています。
62	第4章第3節 農林畜産業の振興	6次産業化の地域消費	6次産業化としてチーズづくりに取り組んでいる。軽米の人たちが地元の農家がどのようなことをしているのか知ってもらいたいため、学校給食や町内の商店でも扱ってもらい、地域の魅力に関心を持ってもらいたい。	○産業振興課 教育委員会	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	地産地消の推進のためにも、食フェスタなどのイベントを活用しながら、地元のみならず広く情報提供できる機会の創出に努めていきます。
63	第4章第3節 商工業の振興	中心商店街	生産者と消費者をつなげるような交流イベントをやってほしい。	産業振興課	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	食フェスタのような食イベントを介した交流の促進や産直施設でのイベントを促進しながら、生産者と消費者の繋がりを増やしていきたいと考えています。
64	第4章第3節 商工業の振興	シティ・ポロモーション(地域愛着度の形成)	地場産品の取り組みを町内の人たちが知る機会や場が必要と思う。地場産品を生産している人たちと地域住民の交流をとおして、地場産品への理解と愛着を深めてもらいたい。	産業振興課	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	上記に同じ。

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
第1回若者会議 移住・定住・交流部会（アンケート含む）						
65	第4章第1節 観光産業の推進	考え方	観光施策を進めるには、おもてなしの心が大事である。	産業振興課	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	おもてなしの心をもって対応できるようにしていくため、継続的な研修機会の創出に努めていきます。
66	第4章第1節 観光産業の推進	考え方	観光施策を進める目的は「交流」の場づくりだと考える。その意味で言えば、観光客には町民がいる場所に来てもらい、交流の機会をいかにつくるかが大事である。	産業振興課	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	町としても観光イベントは、交流人口を増やすことが大きな目的と考えています。多くの方に来て・見て・触れていただけるよう、情報発信に努めていきます。
67	第4章第1節 観光産業の推進	現状	「ミル・みるハウス」の観光客は増えている一方で、周辺や沿道の環境が整備されていないことが課題に感じる。雑草の管理はもう少し徹底してほしい。	産業振興課	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	現在ミル・みるハウスは、指定管理者である(株)軽米町産業開発が管理を行っています。雑草管理のみならず、施設全体に係る管理の徹底を指導していきます。
68	第4章第1節 観光産業の推進	アイデア	軽米には一見馴染まないようなEスポーツの大会を開催するのも面白いと思う。	産業振興課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	当町の光回線環境の優位性を最大限に活用したEスポーツなどは、興味深いものがあります。
69	第4章第1節 観光産業の推進	アイデア	情報発信にオンラインの活用を図ってはどうか。YouTubeを活用した町の観光情報発信や、口コミサイトに町の投稿をしてくれた人に特典を渡すなど、多くの町の人が関わられるようにしたい。	産業振興課	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	現在、町観光協会でもSNSを活用した情報発信にも取り組みながら、YouTubeにてチューリップ動画の配信も試みています。いただいたご意見等も参考にしながら、今後さらに進めていきます。
70	第4章第1節 観光産業の推進	アイデア	SNSを活用するのであれば本気で取り組む必要がある。更新が途絶えてしまうのであれば実施しない方がよい。	産業振興課	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	ご指摘のとおりと考えています。小まめな情報発信に努めながら実施していきます。
71	第4章第1節 観光産業の推進	アイデア	軽米には高速のインターがあり、アクセスが良いので、町中心部にもっと活気が出るようなイベントや施設があると良いと思う。例えば、「ハイキュー人気を利用し、空き家をハイキューのグッズで飾りつけして、レンタルスペースとして活用する」、「防災センター近辺に子ども達が遊べるような公園をつくり、桜並木を整備して、春のお花見等、四季折々の景色を楽しめるようにする」等ができないか。	産業振興課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	ご指摘のとおり、当町は3圏域(二戸・久慈・八戸)のほぼ中心に位置し、車で1時間以内での移動が可能な町です。その有利な土地柄を活かしながら交流人口を増やしていきたいと考えています。今後、イベント企画作りの機会などに参考にさせていただきます。

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
72	第4章第1節 観光産業の推進	アイデア	秋祭りの山車や流し踊り、郷土芸能に対して、町長から団体に何か賞を与えることで、張り合いやユーモア、オリジナリティの発展が生まれ、活性化につながると思う。また、お祭りの参加者と見物客の線引きを明確にさせ、メリハリのあるお祭りにできると良い。参加者や付き添いの人がいたらと歩いていると見栄えが悪い。	産業振興課	C (参考): 計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	頂きましたご意見につきましては、集客と参加者の維持、そして伝統を繋げていけるよう、今後の参考にさせていただきます。
73	第4章第1節 観光産業の推進	アイデア	軽米という名前を知ってもらうために、一年に1回、「いしがきミュージックフェス」のようなロックフェスを開催し、町を活性化できるとよい。	産業振興課	C (参考): 計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	軽米の名前を印象付けられるよう、今後、イベント企画の際などに参考にさせていただきます。
74	第4章第1節 観光産業の推進	事例紹介	高常商店では、去年、東京から来た50人に農業体験を提供した。今年度も雑穀栽培体験を実施する予定だったが、コロナの影響により中止することとした。	産業振興課	C (参考): 計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	さらに各企業や団体の活動が促進されるよう努めていきます。
75	第4章第1節 観光産業の推進	事例紹介	「川場田園プラザ」という日本一有名と言える道の駅がある。地方でもこだわった場づくりをすれば人が来ることを証明してくれている。	産業振興課	C (参考): 計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	各地の施設づくり、街づくりを参考に、軽米らしい場づくりが出来るよう努めていきます。
76	第4章第2節 移住・定住交流 事業の推進	考え方	様々な交流の機会を作ってから移住につなげていくべきである。	総務課	B (趣旨同一): 意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	ご意見のとおり多様な交流を図っていきます。
77	第4章第2節 移住・定住交流 事業の推進	考え方	移住希望者に対して、どのような仕掛けをするかが問われている。	総務課	C (参考): 計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	さまざまなアイデアをいただいているので、ご意見を参考に具体的な内容の検討を進めていきます。
78	第4章第2節 移住・定住交流 事業の推進	情報発信	移住を決断することは相当な覚悟が必要である。町の生活に関する具体的なイメージを提供出来れば、移住を検討する重要な情報となる。	総務課	C (参考): 計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	これまでに移住・Uターンした方等にもご協力いただきながら、さまざまな世代の働き方や生活モデルなどを紹介できるように検討してみたいと考えています。

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
79	第4章第2節 移住・定住交流 事業の推進	情報発信	関東に住んでいる者にとっての心配事として、町には仕事がないイメージがある。具体的にどのような仕事があるのか紹介出来ると良い。	総務課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	上記に同じ。
80	第4章第2節 移住・定住交流 事業の推進	情報発信	移住後10年間の生活、仕事、収入金額などのイメージを示してあげると移住者は検討しやすい。10年間あれば子どもの教育や地域との関わりなどライフスタイルに変化が生じるため、その情報があれば安心する。	総務課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	上記に同じ。
81	第4章第2節 移住・定住交流 事業の推進	子育て	関東と比較すると、丁寧な子育てが出来ると感じる。教育面では不安があるが、八幡平市にインターナショナルスクールが出来るといいので注目している。	○総務課 教育委員会	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	子育てや教育支援の取組みについて、PR方法を工夫していきたいです。
82	第4章第2節 移住・定住交流 事業の推進	子育て	保育環境や交通手段の面からは、子育てが大変と感じる。保育環境については、何でも無料にすれば良いというわけではない。サービスへの対価は支払うので、病後児保育の実施など保育環境を充実させてほしい。	健康福祉課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	子育て世帯の負担軽減のため、保育料、副食費の無償化について協議しているところであり、ご指摘のあった部分についても検討事項として挙げられたところです。今後の協議においても、参考とさせていただきます。また、病後児保育については、早期実施に向け、実施場所、時間等について検討していきます。
83	第4章第2節 移住・定住交流 事業の推進	子育て	充実した公園が必要である。	健康福祉課	A (計画反映):意見の内容の全部を反映し、計画案を修正したもの	(No.12に同じ)子どもが安心して利用できる公園整備を望む声は多い状況です。設置場所や財源の確保、管理体制等、検討課題を整理し、早期実現に向け取り組んでいきます。(目標に、公園の整備に係る文章を追加しました)
84	第4章第2節 移住・定住交流 事業の推進	アイデア	移住定住に続く考え方として、多数の拠点に住む「多住」が注目されている。国内では全国のシェアハウスを転々としながら暮らしている人がいて、アメリカではキャンピングカーで全国を周遊する人がいる。軽米町は他都市へのアクセスが良く(池袋・軽米間の高速バス、八戸市・盛岡市への移動時間)、空き家もあるので、拠点を目指すことが出来る。	総務課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	他都市へのアクセスの良さや町を拠点とした広域観光のPRなどを検討するとともに、空き家バンクの登録数を増やし活用の方向性を検討していきたいと考えています。

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
85	第4章第2節 移住・定住交流 事業の推進	アイデア	「ハイキュー!!」をテーマにしたマラソン大会の開催や、ハイキューファンが滞在～宿泊できるところがあると町に来るきっかけづくりになると思う。	総務課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	ハイキュー関連イベントは観光協会等とも協議をしながら検討していきたいです。 宿泊施設を増やすことは難しいですが、空き家バンクの登録数を増やし、ハイキューファンにも利用していただき、交流につながるような活用方法についても検討していきたいと思います。
86	第4章第2節 移住・定住交流 事業の推進	アイデア	かるまい交流駅(仮称)では町の紹介や特産品販売等で軽米の良さをPRし、町外や県外からも来てもらえるような施設になってほしい。リピーターになってもらい、移住・定住につながるのではないかと思う。	産業振興課	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	施設には、主に文化会館・図書館・子育て支援・健康増進などの機能を有する計画で、今後、町の良さや特産品等のPRができるよう検討していきます。
87	第4章第2節 移住・定住交流 事業の推進	アイデア	廃校や空き家を活用した留学生の受け入れを行い、軽米町で農家の作業の手伝いをしてもらうことで、交流人口の拡大につなげてはどうか。	○総務課 産業振興課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	空き家バンクの登録件数を増やし、具体的に活用の方向性を検討していきたいと思います。

第2回若者会議 環境部会 (アンケート含む)

88	第1章第1節 豊かな自然環境 と美しい景観の 保全	花いっぱいコンクールについて 現状・課題	・参加者の半分は町内会である。 ・地区によっては管理者に負荷がかかるため大変である。 ・花いっぱいコンクールに出て来る人は少ないと思う。	町民生活課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	多くの町民から参加いただき花にあふれる町づくりを推進するため、いただいたご意見を今後の課題として、コンクールの内容、時期、部門等の見直しを検討したいと考えています。
89	第1章第1節 豊かな自然環境 と美しい景観の 保全	花いっぱいコンクールについて 提案・アイデア	負担軽減のため、苗の提供でも良いと思う。	町民生活課	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	毎年、希望する参加者に対して花の種を配布していますが、種類の拡充等についても検討したいと思います。 また、地域活動に対する地域活動支援事業費補助金等の活用も周知したいです。
90	第1章第1節 豊かな自然環境 と美しい景観の 保全	花いっぱいコンクールについて 提案・アイデア	負担軽減のため、重点地域を指定しても良いと思う。	町民生活課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	花いっぱいコンクールに多数参加いただき、町の景観整備を推進しており、重点的な整備については、今後の課題として参考にさせていただきたいと思います。
91	第1章第1節 豊かな自然環境 と美しい景観の 保全	花いっぱいコンクールについて 提案・アイデア	環境整備はメリハリつけるべきだと思う。軽米インターチェンジからミル・みるハウスの道中は観光客に対しての顔になるので、この区間の環境整備を重点的に実施するべきである。	町民生活課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	花いっぱいコンクールに多数参加いただき、町の景観整備を推進しており、重点的な整備については、今後の課題として参考にさせていただきたいと思います。

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
92	第1章第1節 豊かな自然環境 と美しい景観の 保全	花いっぱいコン クールについて 提案・アイデア	町には桜が少ないと思うので、代わりに チューリップを増やしてはどうか。	町民生活課	B (趣旨同一):意見と計画案の 趣旨が同一であり、計画案の 修正が必要ないもの	これまでは公共施設へのチューリップの球根配布による環 境整備を推進してきましたが、今年度は、産業振興課と連 携し約2万球の球根を町民に配布しました。来年度以降も 継続して配布できるように進めていきたいと考えています。
93	第1章第1節 豊かな自然環境 と美しい景観の 保全	花いっぱいコン クールについて 提案・アイデア	チューリップの配布は良いと思う。一般 家庭にも配布した方が良い。	町民生活課	C (参考):計画案を修正しない が、個別施策等の事業実施段 階で参考とするもの	上記に同じ。
94	第1章第1節 豊かな自然環境 と美しい景観の 保全	花いっぱいコン クールについて 提案・アイデア	花いっぱいコンクールに若手や多くの 人を巻き込む仕組みがあると良い。	町民生活課	C (参考):計画案を修正しない が、個別施策等の事業実施段 階で参考とするもの	多くの町民から参加いただき花にあふれる町づくりを推進 するため、いただいたご意見を今後の課題として、コンク ールの内容、時期、部門等の見直しを検討したいと思いま す。
95	第1章第1節 豊かな自然環境 と美しい景観の 保全	川沿いの活用に ついて 提案・アイデア	川沿いは有効活用できると思う。子ども の遊び場やイベント、高齢者の休憩場 所として活用できる。	○町民生活課 健康福祉課	D (対応困難):計画への反映が 困難なもの	河川敷の利用には、河川管理者である岩手県の許可が必要 となります。安全上の問題から、町として子どもの遊び 場等として活用するのは難しいと考えており、現段階では 別な場所への公園の整備や、交流駅を活用した取り組み を進めていきたいと考えています。
96	第1章第1節 豊かな自然環境 と美しい景観の 保全	川沿いの活用に ついて 提案・アイデア	川沿いに草っ原があるだけで子どもの 遊び場になる。	町民生活課	D (対応困難):計画への反映が 困難なもの	上記に同じ。
97	第1章第1節 豊かな自然環境 と美しい景観の 保全	美しい景観づく りについて 提案・アイデア	景観を楽しめる場所をつくる取組も必要 だと思ふ観を楽しめる場所をつくる取組 も必要だと思ふ。	○町民生活課 産業振興課	C (参考):計画案を修正しない が、個別施策等の事業実施段 階で参考とするもの	観光担当課、文化財保護担当課等と連携して、軽米町に ある素敵なポイントやインスタ映えするポイントを軽米町の 魅力としてを町内外に情報を発信する取り組みの検討を 進める必要があります。
98	第1章第1節 豊かな自然環境 と美しい景観の 保全	美しい景観づく りについて 提案・アイデア	軽米には素敵なポイントがあるが発信 できていない。インスタ映えするポイント を整備したら良い。	町民生活課 産業振興課	C (参考):計画案を修正しない が、個別施策等の事業実施段 階で参考とするもの	上記に同じ。
99	第1章第1節 豊かな自然環境 と美しい景観の 保全	草刈り時の除草 剤使用について 提案・アイデア	高齢化の中では、除草剤の使用はやむ を得ないと思う。	町民生活課	E (その他)計画案の修正や今 後の対応が不要なその他の意 見	私有地での除草剤の使用については、所有者の責任と 考えられます。 道路公共用地等で除草剤を使用する場合は周辺への影 響を考慮して、必要最小限の使用とする必要があります。 高齢者等の所有地の草刈等については、地域全体の課 題として地域活動支援事業費補助金等を活用した取り組 みも考えられ制度の周知を図りたいと思います。
100	第1章第1節 豊かな自然環境 と美しい景観の 保全	草刈り時の除草 剤使用について 提案・アイデア	除草剤によって草の根まで枯れると、 傾斜地では地盤が弱まって崩れてしま う可能性がある。根を枯らさない除草剤 が出ているので検討してほしい。	町民生活課	D (対応困難):計画への反映が 困難なもの	上記に同じ。
101	第1章第1節 豊かな自然環境 と美しい景観の 保全	草刈り時の除草 剤使用について 提案・アイデア	様々な場所に対応できる草刈り専用 の機械があるので検討してほしい。	町民生活課	D (対応困難):計画への反映が 困難なもの	上記に同じ。

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
102	第1章第1節 豊かな自然環境 と美しい景観の 保全	草刈り時の除草 剤使用について 提案・アイデア	近くの田畑への影響が出ないように種 類や場所を考えてほしい。	町民生活課	D (対応困難):計画への反映が 困難なもの	個人で除草剤を使用する場合には、隣接する所有者への 配慮が必要と思われます。
103	第1章第1節 豊かな自然環境 と美しい景観の 保全	草刈り時の除草 剤使用について 提案・アイデア	除草剤を使用すると草が枯れて茶色く 変色する。景観が悪化するので、使用 する場所を選ぶ必要がある。	町民生活課	D (対応困難):計画への反映が 困難なもの	上記に同じ。
104	第1章第1節 豊かな自然環境 と美しい景観の 保全	獣害について 現状・課題	鹿、熊、猪による農業被害が増加して いる。	町民生活課 産業振興課	C (参考):計画案を修正しない が、個別施策等の事業実施段 階で参考とするもの	農作物被害の届出があった場合、町鳥獣被害対策実施隊 による被害調査及び有害鳥獣の一斉捕獲や追い払い、罠 の設置等を行っています。また、人的被害防止のためにも、有害駆除等を実施します。
105	第1章第1節 豊かな自然環境 と美しい景観の 保全	その他	会議では、親水公園や空き地(草原)を 整備して子供の遊び場やイベント開催 に活用してはどうかという意見がありま した。また、(主に)若い人をターゲット に呼び込むような“映え”スポットを作る という意見も出させていただきました。こ れは、一つの課単独で対応できるもの ではなく、また、役場だけでも実現でき るものでもないと思うので、町民を巻き 込み行政が下支えとなって進めていく ことが良いと感じました。それと同時に、 交流人口を増やすメリット・デメリットに ついて議論し検討していくことも重要 と思います。	○総務課 全課	B (趣旨同一):意見と計画案の 趣旨が同一であり、計画案の 修正が必要ないもの	役場内において、課横断的な取り組み、意見交換のできる 場を作っていきたいと思います。
106	第1章第2節 地球温暖化対策 の推進	温室効果ガスの 削減について 提案・アイデア	車の移動をなるべく減らす方法を考え たい。町内は坂が多いので自転車利用 は難しいと思うが、近隣でロードバイク を楽しんでいる人がいるのでヒントにな りそうである。	再エネ室	B (趣旨同一):意見と計画案 の趣旨が同一であり、計画 案の修正が必要ないもの	町民や事業者への啓発等を通して、省資源・省エネルギー に向けた取り組みを促進します。
107	第1章第2節 地球温暖化対策 の推進	温室効果ガスの 削減について 提案・アイデア	林業の支援が温室効果ガスの削減に 役立つと思う。	○再エネ室 産業振興課	B (趣旨同一):意見と計画案 の趣旨が同一であり、計画 案の修正が必要ないもの	温室効果ガスの削減には森林吸収量も役立つと考えて おります。森林整備計画に基づいた林業振興を図るなか で、森林を健全な状態に育成し、循環させるという質的充 実に向けた森林整備を推進するとともに、森林経営管理制 度による、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を 図っていきます。 また、公共施設に積極的に省エネルギー・再生可能エネ ルギー設備を導入するとともに、一般家庭や企業への再 生可能エネルギー設備の導入を支援します。

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
108	第1章第2節 地球温暖化対策 の推進	温室効果ガスの 削減について 提案・アイデア	町内で発電された再生可能エネルギー を住民が使えるような仕組みが必要で ある。	再エネ室	B (趣旨同一):意見と計画案 の趣旨が同一であり、計画 案の修正が必要ないもの	第1章第3節の「再生可能エネルギーの利用促進」を進め る中で、「エネルギーの地産地消」を進めていく計画であ り、その中で町内で発電された再生エネを住民が使えるよ うな仕組みを考えていきます。
109	第1章第4節 ごみ減量化の推 進	ポイ捨て対策に ついて 現状・課題	道路沿いの農地へのポイ捨てが多い。	町民生活課	C (参考):計画案を修正しない が、個別施策等の事業実施段 階で参考とするもの	ポイ捨てされたゴミは不法投棄物となることを周知徹底し、 住民意識の高揚に努めたいと思います。
110	第1章第4節 ごみ減量化の推 進	ポイ捨て対策に ついて 提案・アイデア	ポイ捨て用のゴミ箱を設置している事例 がある。参考にしてみてはどうか。	町民生活課	C (参考):計画案を修正しない が、個別施策等の事業実施段 階で参考とするもの	上記に同じ。
111	第1章第4節 ごみ減量化の推 進	ゴミステーション への不法投棄に ついて 現状・課題	他地区の人がゴミステーションを利用し ている。町と一緒に対策を考えていき たい。	町民生活課	C (参考):計画案を修正しない が、個別施策等の事業実施段 階で参考とするもの	町としても、ゴミ出しのマナー向上について、周知を図り、 住民意識の高揚に努めたいと思います。
112	第1章第4節 ごみ減量化の推 進	ゴミステーション への不法投棄に ついて 提案・アイデア	監視カメラを設置した結果、ゴミステ ーションの管理が徹底された。参考にし てほしい。	町民生活課	C (参考):計画案を修正しない が、個別施策等の事業実施段 階で参考とするもの	マナー向上の方法として参考にしたいと思います。
113	第1章第4節 ごみ減量化の推 進	家庭のゴミ量削 減について 現状・課題	・ゴミが減れば処理にかかる経費を節 約できる。 ・どんな商品でも過剰包装されている現 状があり、各家庭での取組には限界が ある。 ・生ゴミの処理は自宅で実施している。 ・プラスチック容器は回収している店舗 に持っていく。 ・子どもがいる家庭だとどうしてもゴミの 量が多くなってしまふ。	町民生活課	B (趣旨同一):意見と計画案の 趣旨が同一であり、計画案の 修正が必要ないもの	ご提言いただいたご意見のとおりです。 今後の参考として取り組みを進めたいと思います。
114	第1章第4節 ごみ減量化の推 進	家庭のゴミ量削 減について 提案・アイデア	ゴミの減量化には、町で発生するゴミの 量の見える化が必要である。	町民生活課	B (趣旨同一):意見と計画案の 趣旨が同一であり、計画案の 修正が必要ないもの	ご提言いただいたご意見のとおりです。 ホームページ等でごみの排出量等を数値として住民に周 知することを検討していきたいと思います。
115	第1章第4節 ごみ減量化の推 進	家庭のゴミ量削 減について 提案・アイデア	広報誌や町内放送等などによってゴミ 量の状況について周知してはどうか。	町民生活課	B (趣旨同一):意見と計画案の 趣旨が同一であり、計画案の 修正が必要ないもの	上記に同じ。
116	第1章第4節 ごみ減量化の推 進	家庭のゴミ量削 減について 提案・アイデア	過剰包装のリデュースとして新たな取 組があると良い。地元の店舗と協力し、 包装を簡素にする取り組みを進めては どうか。地元店舗には補助金を出し、利 用した消費者にもゴミ削減ポイントな どのメリットがあると良い。	町民生活課	C (参考):計画案を修正しない が、個別施策等の事業実施段 階で参考とするもの	ごみの減量化推進の貴重なご意見として、事業推進の参 考とさせていただきます。

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
117	第1章第4節 ごみ減量化の推 進	家庭のゴミ量削 減について 提案・アイデア	品川区では、まだ使える粗大ゴミを行政 が販売している。	町民生活課	C (参考):計画案を修正しない が、個別施策等の事業実施段 階で参考とするもの	ごみの減量化推進の貴重なご意見として、事業推進の参 考とさせていただきます。
118	第1章第4節 ごみ減量化の推 進	家庭のゴミ量削 減について 提案・アイデア	主要施策として“年に1度のクリーンアッ プデー”とあるが、地区によって事業の やり方が違うように思う。私の地区では 主に育成会で、学校からゴミ袋が配付 されそれぞれ自宅周辺のゴミ拾いをする 、というあっさりしたものだが、地区に よっては、みんなで一斉に地区のゴミ拾 いや草刈りをしているという話も聞く。特 に最近、県道などの通行量の多い道 路脇のゴミが散見され、処理は地区任 せでよいのかということも思っている。 事業の遂行状況についてどのくらい把 握しているのか、現状でよいのかどうか 評価も必要と感じている。環境整備に ついてもっと踏み込んだ施策が必要。	町民生活課	C (参考):計画案を修正しない が、個別施策等の事業実施段 階で参考とするもの	クリーンアップ事業については、一斉清掃の日(8月第一 日曜日)を定めて、地域環境美化活動として町内各地区で 自主的に活動を実施していただき、衛生組合連合会がご み袋を配布して、集めたごみを町で回収しています。 ご提言いただいたご意見を参考として、クリーンアップ事 業については検証並びに見直しを行いたいと思います。
119	第1章第4節 ごみ減量化の推 進	子ども用グッズ のリユースにつ いて 提案・アイデア	ベビーバスなどの子どもの成長によっ ていらなくなるものは、リサイクルショッ プまで持ち込むのは面倒なので捨てて しまう。欲しい人に提供できるよう町で 仲介してマッチングできると良い。	町民生活課	C (参考):計画案を修正しない が、個別施策等の事業実施段 階で参考とするもの	ごみの減量化推進に対するご意見として、事業推進の参 考とさせていただきます。
第2回若者会議 福祉・生涯学習部会 (アンケート含む)						
120	第2章第2節 保健対策の充実 と医療体制の維 持	医療体制につ いて 現状・課題	・軽米病院の診療科目の維持は維持で きるのか。維持するのであればそのた めに準備をしっかりする必要がある。 ・軽米には県立病院と個人病院があ る。県立病院の維持だけでなく、個人 病院の維持も含めて、医療体制を整え ていく必要がある。 ・高齢者の中には、地域で亡くなりた い方もいる。	健康福祉課	D (対応困難):計画への反映が 困難なもの	現在の診療科目が維持できるよう要望等を行っていきたく と思います。個人病院については、情報交換の機会が必要 と考えています。
121	第2章第2節 保健対策の充実 と医療体制の維 持	医療体制につ いて 提案・アイデア	入院施設を増やしていくべきである。個 人病院でも入院できるようにする体制 が整うと安心して医療を受けることが できる。	健康福祉課	D (対応困難):計画への反映が 困難なもの	二戸医療圏では既存病床数が基準病床数を上回っている ため、新設・増床が制限されている状況です。

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
122	第2章第2節 保健対策の充実 と医療体制の維持	医療体制について 提案・アイデア	町の医療体制を維持していくためには、 医師の確保は重要である。例えば、町 出身者で医学部に進学する方に助成 金を支払い、将来町に戻ってきてもら うようにしてはどうか。	健康福祉課	D (対応困難):計画への反映が 困難なもの	奨学金制度は有効ですが、町立の医療機関がないため、 既存の県・国保連合会の奨学金制度の周知を図ってい きたいと考えています。
123	第2章第2節 保健対策の充実 と医療体制の維持	医療体制について 提案・アイデア	若い世代に対する定期歯科検診も行っ てほしい。	健康福祉課	D (対応困難):計画への反映が 困難なもの	健康増進法に基づき40歳から10歳刻みで実施してい ますが、受診率は低い状況であり、現段階では若い世代に 広げても受診者は少ないと考えています。
124	第2章第2節 保健対策の充実 と医療体制の維持	健康づくりにつ いて 現状・課題	・二戸には運動する場が少ないというこ とで、軽米に来ている人もいるようであ る。 ・健康づくりのためのアプリ活用は良い 取り組みであるが、高齢者も多い軽米 町でどれくらいの方が利用するのか課 題である。 ・町でどのような健康づくりやスポー ズができるのかの情報発信が課題であ る。 ・ハートフル・スポーツランドで子ども達 と散歩や遊びをしているが、冬場は雪 のため利用できない。健康づくりのため に、冬場のスポーツをする場が必要で ある。	○健康福祉課 ○教育委員会	C (参考):計画案を修正しな いが、個別施策等の事業実 施段階で参考とするもの	広報誌やSNSを活用した施設や事業の情報発信を強化し ます。 また、冬期間でも利用できる屋内施設を中心に、活用促進 を図ります。 健康づくりのためのアプリ活用については、アプリを利用 できない方については、歩数計などで代替するなど工夫して 実施します。
125	第2章第2節 保健対策の充実 と医療体制の維持	健康づくりにつ いて 提案・アイデア	健康づくりに関しては、軽米では気軽に スポーツが出来る場が少ないように思 う。かるまい交流駅でのスポーツジムの ような機能を持たせてほしい。	○教育委員会 健康福祉課	C (参考):計画案を修正しな いが、個別施策等の事業実 施段階で参考とするもの	交流駅にはフィットネス・トレーニングルームが整備され ますので、活用促進を図ります。
126	第2章第2節 保健対策の充実 と医療体制の維持	健康づくりにつ いて 提案・アイデア	かるまい交流駅で健康づくりをする場が あると良い。その時、子どもの遊び場と 大人のスポーツをする場が近くにあり、 親は子どもが遊んでいる間にスポー ズをすることが考えられるため、そのよ うな居室の配置をしても良い。また、交 流駅ではジムの他に、女性用のヨガな ど様々な企画を用意すると、色々な世 代が集まれてよい。	○教育委員会 健康福祉課	C (参考):計画案を修正しな いが、個別施策等の事業実 施段階で参考とするもの	交流駅にはフィットネス・トレーニングルームと子育て支援 センターが整備されます。多機能を持つ施設を活用して、 色々な世代に対応した事業の展開に努めます。
127	第2章第2節 保健対策の充実 と医療体制の維持	健康づくりにつ いて 提案・アイデア	子どもと遊べる公園は必要である。	○健康福祉課 教育委員会	A (計画反映):意見の内容の全 部を反映し、計画案を修正し たもの	子どもが安心して利用できる公園整備を望む声は多い状 況です。設置場所や財源の確保、管理体制等、検討課題 を整理し、早期実現に向け取り組んでいきます。(第3章第 1節の目標に、公園の整備に係る文章を追加しました)

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
128	第2章第2節 保健対策の充実 と医療体制の維 持	健康づくりにつ いて 提案・アイデア	色々なツールを用いた情報発信が必要 である。特にSNS等を活用した情報発 信が考えられる。これまでの町のSNSで は事後報告(このような取り組みをし ました)という内容が多かったが、開 催案内(これからこのような事をし ますので、参加しませんか)という 内容を頻りに発信していく必要が あり、それにはSNSが有効である。 SNSは若い世代に届くと思う。公 民連携でやるのが大切である。	健康福祉課 全課	C (参考):計画案を修正しない が、個別施策等の事業実施段 階で参考とするもの	SNSの活用を検討します。
129	第2章第2節 保健対策の充実 と医療体制の維 持	健康づくりにつ いて 提案・アイデア	スポーツの機会づくりとして、体育協 会の各団体の活動を紹介するために、 リストを作成して、様々な場でアピ ールしてはどうか。	〇健康福祉課 教育委員会	C (参考):計画案を修正しない が、個別施策等の事業実 施段階で参考とするもの	広報誌やSNS等を活用し、各団 体の活動状況や会員募集 などを周知し、スポーツ活動 への参加機会づくりに努め ます。
130	第2章第2節 保健対策の充実 と医療体制の維 持	健康づくりにつ いて 提案・アイデア	健康づくりのためには、専門的な指 導者も必要である。秋田県湯沢市 では専門的な指導者が健康指導 をしているようである。	健康福祉課	C (参考):計画案を修正しない が、個別施策等の事業実 施段階で参考とするもの	専門的な指導者の指導を取り 入れていきたいと思いま す。
131	第2章第2節 保健対策の充実 と医療体制の維 持	健康づくりにつ いて 提案・アイデア	健康づくりについて、各事業への 参加者を増やすために、特典(イン センティブ)を与えることは良い ことである。現在のインセン ティブも継続しつつ、新しい ものを取り入れることが必要 である。	健康福祉課	C (参考):計画案を修正しない が、個別施策等の事業実 施段階で参考とするもの	PDCAサイクルにより定期的 に見直しを行っていきたく 思います。
132	第2章第2節 保健対策の充実 と医療体制の維 持	健康づくりにつ いて 提案・アイデア	福祉・生涯学習部会のなかで、も っとSNSを活用して情報発信を してもらいたい、情報発信の 方法を工夫した方がよいとい う意見が出されたので町の Facebookを見てみた。確かに イベントを開催したとか広報 を発行したといったような 投稿がほとんどだったので、 日頃から各課からのお知らせ をSNSでも発信していければ いいのかなと思った。 (例えば課ごとにアカウント登 録して情報を周知するとか ...)紙媒体での周知ももちろ ん必要だが、若い人たちは SNSの方が確認しやすい。ホ ームページは探すのが大変 とのこと。	〇総務課 全課	B (趣旨同一):意見と計画案 の趣旨が同一であり、計 画案の修正が必要ないも の	情報発信の強化については 第7章において推進する こととしています。Face book、LINE、twitter、 instagramなど、それぞ れのSNSのメリットを検 証し、効果的な情報発信 体制を整備していきたい と考えています。

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
133	第2章第2節 保健対策の充実 と医療体制の維持	子どもの健康対策(肥満対策)について 現状・課題	・軽米の子どもは、偏食で肥満が多いように思う。 ・学校給食における残食も多いが、学校は子どもに対して強く言えない傾向があるようだ。 ・にこにこ教室で理学療法士を招いて、健康授業を行っているが、小さい年代からの健康への意識を向上させる取り組みとして良いと感じているので、継続してほしい。	健康福祉課	A (計画反映):意見の内容の全部を反映し、計画案を修正したもの	主要施策(2)に幼少期の食育事業の推進を加えました。
134	第2章第2節 保健対策の充実 と医療体制の維持	子どもの健康対策(肥満対策)について 提案・アイデア	子どもの頃からの心と体の健康づくりや食育教育(残食指導含む)が大切であるため、その取り組みを促進していく。	○健康福祉課 教育委員会	A (計画反映):意見の内容の全部を反映し、計画案を修正したもの	主要施策(2)に幼少期の食育事業の推進を加えました。
135	第2章第2節 保健対策の充実 と医療体制の維持	子どもの健康対策(肥満対策)について 提案・アイデア	子どもの健康について関心が低い親もいる。そのような親に対してアピールしていく方法を検討する必要がある。	○健康福祉課 教育委員会	A (計画反映):意見の内容の全部を反映し、計画案を修正したもの	主要施策(2)に幼少期の食育事業の推進を加えました。
136	第2章第2節 保健対策の充実 と医療体制の維持	心の健康づくり 現状・課題	・65歳以上の独居高齢者を対象に、社協による見回りを行っているが、全てを回っているわけではない。 ・岩手銀行では軽米町と提携し、県内初のゲートキーパー事業を行っている。窓口業務等でいつもと雰囲気が違う方を関係機関に繋げている。 ・心の健康、体の健康について支援が必要な方が町内には多いように感じる。 ・独居高齢者の自殺リスクは高い。ゲートキーパーは必要な取り組みである。	健康福祉課	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	
137	第2章第2節 保健対策の充実 と医療体制の維持	心の健康づくり 提案・アイデア	ゲートキーパー事業は、岩手銀行だけではなく、他の企業や関係団体にも広げていき、町全体で見守る体制づくりをしていく。郵便局や配食サービスの方などを色々な方と連携していく必要がある。	健康福祉課	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
138	第2章第2節 保健対策の充実 と医療体制の維持	心の健康づくり 提案・アイデア	心の健康のためには、常に顔を合わせて話していることが重要であり、独居の方など人との関わりが薄い方に人と関わることを促していくことが重要である。	健康福祉課	C (参考): 計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	第2章第3節に記載のとおり、関係分野との連携を図りながら地域での支えあいを推進していきます。
139	第2章第4節 生涯学習の推進	図書館事業・読書について 現状・課題	・乳幼児に対するファーストブックは感動した。ぜひ続けてほしい。 ・兄弟がいる家庭は、上の子が下の子に絵本を読み聞かせすることも多い。子どもは絵本を通して成長するように思う。子どもの教育のためにも、図書館や絵本事業は力を入れるべきだ。 ・かるまい交流駅に新しく図書館ができるということで非常に期待している。 ・現在、3人の子どもがいるが土日は図書館で過ごすことが多い。新しい図書館になっても通いたい。	教育委員会	B (趣旨同一): 意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	子供の読書推進については、今後も積極的に取り組みます。交流駅にできる図書館は誰もが利用しやすい図書館環境及び運営に努めます。
140	第2章第4節 生涯学習の推進	図書館事業・読書について 提案・アイデア	DVDの貸し出しができると良い。	教育委員会	A (計画反映): 意見の内容の全部を反映し、計画案を修正したもの	DVDなどの視聴覚資料のほか、電子書籍等も視野に入れ、整備・貸出できるよう計画に盛り込みます。
141	第2章第4節 生涯学習の推進	図書館事業・読書について 提案・アイデア	絵本の読み聞かせは継続してほしい。	教育委員会	B (趣旨同一): 意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	今後も継続して、実施していきます。
142	第2章第4節 生涯学習の推進	かるまい交流駅の使い方 現状・課題	かるまい交流駅がどのような施設になるのか気になる。	教育委員会	E (その他) 計画案の修正や今後の対応が不要なその他の意見	多目的ホールや図書館、フィットネス・トレーニングルーム等が整備されます。町民の多様な学習活動を支援する生涯学習の拠点施設を目指します。
143	第2章第4節 生涯学習の推進	かるまい交流駅の使い方 提案・アイデア	現在、仕事後や休日での大人の勉強する場がない。かるまい交流駅にそのような場があると良い。	教育委員会	B (趣旨同一): 意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	図書館のほか、ラウンジ等にも学習できるスペースを設置する計画となっています。
144	第2章第4節 生涯学習の推進	かるまい交流駅の使い方 提案・アイデア	交流駅のテーマは「町民のひとり一人が何かしらの目的で行くような施設」と位置づけたい。	教育委員会	C (参考): 計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	生涯学習の拠点施設として学習情報を発信し、図書館や多目的ホール、フィットネス・トレーニングルームなどの施設を活用した学習機会の提供を図ります。
145	第2章第4節 生涯学習の推進	かるまい交流駅の使い方 提案・アイデア	バンド活動ができると良い。	教育委員会	C (参考): 計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	スタジオ・リハーサル室(防音仕様)が整備されますので、音楽活動等に活用できます。

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
146	第2章第4節 生涯学習の推進	かるまい交流駅 の使い方 提案・アイデア	施設では、高齢者と子どもなど多世代 が交流できるような施設とするのが良 い。高齢者と子どもが触れ合い・あいさ つをするなど交流することで、それぞ れの世代に良い効果が生まれる。	教育委員会	C (参考):計画案を修正しな いが、個別施策等の事業実 施段階で参考とするもの	多機能施設を活用し、福祉担当課等と連携しながら、世代 交流の機会創出に努めます。
147	第2章第4節 生涯学習の推進	かるまい交流駅 の使い方 提案・アイデア	パソコンを数台設置し、家にパソコンの ない子どもがそこでプログラミングの勉 強ができるが良い。	教育委員会	C (参考):計画案を修正しな いが、個別施策等の事業実 施段階で参考とするもの	町民の学習要求に応じながら、多様な学習機会の提供に 努めます。
148	第2章第4節 生涯学習の推進	かるまい交流駅 の使い方 提案・アイデア	大人も子どもも勉強ができるようなパー ソナルスペースがほしい。	教育委員会	C (参考):計画案を修正しな いが、個別施策等の事業実 施段階で参考とするもの	図書館のほか、ラウンジ等にも学習できるスペースを設置 する計画としています。
149	第2章第4節 生涯学習の推進	かるまい交流駅 の使い方 提案・アイデア	交流駅と町内の各地を結ぶ交通網を整 備する必要がある。週1回は各地から 交流駅にバスが通ると良い。	○総務課 教育委員会	B (趣旨同一):意見と計画案の 趣旨が同一であり、計画案の 修正が必要ないもの	交流駅をターミナル駅とし、現在運行している町民バス、コ ミュニティバスなどが交流駅に停まるような体制にする予 定です。また、路線バスや高速バスの利用者など、多くの 人が集まれるような体制にしたいと考えています。
150	第2章第4節 生涯学習の推進	かるまい交流駅 の使い方 提案・アイデア	交流駅に小さい販売ブース(アピール ボックス)を設けてはどうか。生涯学習 の成果や手仕事品を置いて、来場者に アピールすると良い。方法としては、小 さく区切られたボックスを用意し、そこを 町民に貸し出して、作品等を展示するイ メージである。	教育委員会	C (参考):計画案を修正しな いが、個別施策等の事業実 施段階で参考とするもの	生涯学習の成果を発表する場として、ご提案を参考とさせ ていただきます。
151	第2章第4節 生涯学習の推進	かるまい交流駅 の使い方 提案・アイデア	コロナ禍の中なので、インターネット環 境を整備し、オンライン会議に対応でき るようにすることも重要である。	教育委員会	C (参考):計画案を修正しな いが、個別施策等の事業実 施段階で参考とするもの	ICTの活用は今後ますます必要と考え、対応できるよう検 討します。
152	第2章第4節 生涯学習の推進	生涯学習につ いて 現状・課題	・町民に対して、生涯学習の機会をどの ように増やしていくかは難しい。町民ひ と一人が生涯学習に対して、きっかけ をどう作っていくか課題である。また、ど のような関心を向けさせるかも課題であ る。 ・生涯学習に関して、様々な講座を行っ ていることは知っているが、平日の開催 も多く、中々参加できない。土日の開催 があれば良い。	教育委員会	C (参考):計画案を修正しな いが、個別施策等の事業実 施段階で参考とするもの	多様なライフスタイルに応じた学習機会の創出と情報提供 に努めます。

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
153	第2章第4節 生涯学習の推進	生涯学習について 提案・アイデア	生涯学習の参加者を増やすために、県内の書道部のある高校に来てもらい、大きな半紙の書道披露のようなイベントを実施し、その後書道教室への参加の呼びかけをするなど、仕掛けづくりをする。	教育委員会	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	ご提案いただいたイベントを参考に、様々な分野における学習意欲の喚起を図ります。
154	第2章第4節 生涯学習の推進	生涯学習について 提案・アイデア	生涯学習を良いものにしていくためには、外部との交流が重要である。例えば、町外の様々な分野の先生の講義の開催、海外の方を招いての国際交流がある。	教育委員会	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	多様な学習機会を創出するため、講座等の企画立案の参考とします。
155	第2章第4節 生涯学習の推進	生涯学習について 提案・アイデア	大学との連携も大切である。町を研究フィールドとして提供し、その成果を町に還元するとともに、町の活動にも参加していただき、意見をもらうことも良い。町の空家を大学に貸し出して、そこを拠点として活動しても良いのではないか。	教育委員会	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	まちづくりや町の課題解決の観点から総務課等と連携し検討します。

第2回若者会議 生活基盤部会（アンケート含む）

156	第6章第1節 安全な暮らしのための環境づくり	交通環境の整備 現状・課題	中学校へ上がる坂道が冬期はカーブですべて登れないことがある。	地域整備課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	当該路線は、通常の凍結防止剤散布路線であるため、パトロールを強化します。
157	第6章第1節 安全な暮らしのための環境づくり	町道の整備 現状・課題	B&Gプール前の道路が交通量の割に狭く、すれ違うのが危ない。	地域整備課	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	当該路線は通勤・通学路であることから、計画的に推進します。
158	第6章第1節 安全な暮らしのための環境づくり	公共交通機関の 利便性の向上 現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 多くの町民にとってそもそもバスがどこへ行くのか何時に帰れるのか利用方法がわからない。 路線バスに関する情報が少なく時刻表もどこで見られるのかわからない。 利用者は少ないものの交通弱者は増える傾向にあり公共交通の維持は必要である。 代替の公共交通と期待されるデマンドバス(乗合タクシー)は既存の路線バスと競合関係に当たるので、なかなか事業着手できていない。 	総務課	A (計画反映):意見の内容の全部を反映し、計画案を修正したもの	バスの利用法等については周知方法を検討することとし、主要施策(3)を修正しました。なお、時刻表については、ホームページへの掲載と区長文書で全戸配布を行っています。デマンドタクシーについては、公共交通全体のあり方にかかることですので、導入している市町村の状況を調査したうえで、再度検討したいと思います。

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
159	第6章第1節 安全な暮らしの ための環境づくり	公共交通機関の 利便性の向上 提案・アイデア	デマンドバスは公共交通の利用者を増やすと思われるので、予約方法やルート選択、支払いなどに関する利便性や融通性を高める必要がある。	総務課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	上記に同じです。
160	第6章第1節 安全な暮らしの ための環境づくり	公共交通機関の 利便性の向上 提案・アイデア	家からバス停まで距離のある人も多いので、もっと小回りの利く小さなバスが増えると良い。	総務課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	町で現在運行しているバスはマイクロバスとなります。利用者数の減少も続いていることから、更なる小型化についても検討の余地はあると考えます。
161	第6章第1節 安全な暮らしの ための環境づくり	公共交通機関の 利便性の向上 提案・アイデア	休みの日に活用されていないスクールバスを利用して、図書館やイベント会場などへ子ども達や地域の人たちを運んでもいいのではないか。	○教育委員会 総務課	D (対応困難):計画への反映が困難なもの	スクールバスは児童生徒の登下校用として、国の補助事業等で車両を購入していることから、学校の登下校や校外活動以外での利用は難しい状況です。休日やイベント時の地域から町中心部への移動については、町としての支援のあり方や必要性について検討させていただきたいと思えます。
162	第6章第1節 安全な暮らしの ための環境づくり	公共交通機関の 利便性の向上 提案・アイデア	バス・タクシー運転者の不足が深刻化しているので、二種免許取得に対してもっと補助があっても良いのではないか。	総務課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	運転手の育成は今後の公共交通を維持していくために重要なものです。民間バス会社では免許取得費用を助成していますので、町としての支援については、必要性等を検討してみたいと思えます。
163	第6章第1節 安全な暮らしの ための環境づくり	公共交通機関の 利便性の向上 提案・アイデア	公共交通機関の利便性の向上について、町内のバス運行経路、本数のみを充実させても、中心部に来からの交通手段がないので、例えば、交流駅を起点に、高齢者には、レンタシニアカー(ラクーター?)、シルバーカー、若者には、レンタサイクルなどを利用できるようにすれば、街中心部、金融機関、役場を利用しやすくなり、バスの利用者の増、商店街の活性化、高齢者の引きこもり防止に繋がるかもしれない。レンタシニアカーは、すぐには乗りこなせないと思うので、講習の機会も設定することにより、交通安全対策協議会の活躍にもつながるかも。	○総務課 教育委員会 全課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	町中心部に人が集まり交流が行われることが施設を整備する一番の目的だと思います。いただいた意見を参考に、交流駅に来た後の移動方法や町中心部の賑わい創出の方法について検討したいと思えます。

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
164	第6章第1節 安全な暮らしのた めの環境づくり	消防・防災体制 の充実 現状・課題	・消防団は慢性的に人手不足である。 ほとんどの団員が日中は町外で働いて いるので連絡があっても駆けつけられ ない。 ・日中に町内に居る消防団OBを活用 するというアイデアは以前からある が、上下関係に比較的厳しい組織なの で指示系統に難しい課題が残る。 ・他市町村では女性消防団員も増えて きているが、軽米町ではラッパ隊員で の入隊に留まり、一般隊員とは分けられ ている。 ・自主防災組織は地区行政組織中心に 設立・運営されており、地区行政組織へ の参加が少ない若い世代には情報が 下りてこない。	総務課	C (参考):計画案を修正しない が、個別施策等の事業実施段 階で参考とするもの	行政区や町内会と消防団の連携がうまくいくように、情報 提供、情報共有の方法等について検討したいと思います。
165	第6章第1節 安全な暮らしのた めの環境づくり	消防・防災体制 の充実 提案・アイデア	地区行政組織を担っている世代と消防 団を担っている若い世代の連携が必要 で、多世代交流型の訓練を増やしてい く必要がある。	総務課	C (参考):計画案を修正しない が、個別施策等の事業実施段 階で参考とするもの	行政区活動における若い世代の参画を図るためのアイデ アとして、参考にさせていただきたいと思います。
166	第6章第1節 安全な暮らしのた めの環境づくり	消防・防災体制 の充実 提案・アイデア	地区行政組織と消防団世代との協働 で、避難訓練の際に炊き出し訓練と称 したBBQを開催し、若い世代の参加を 促す。	総務課	C (参考):計画案を修正しない が、個別施策等の事業実施段 階で参考とするもの	上記に同じ。
167	第6章第1節 安全な暮らしのた めの環境づくり	消防・防災体制 の充実 提案・アイデア	地区行政組織と消防団世代の協働によ る避難訓練で親子向けの消火訓練を開 催し、若い世代の参加を促す。	総務課	C (参考):計画案を修正しない が、個別施策等の事業実施段 階で参考とするもの	上記に同じ。
168	第6章第1節 安全な暮らしのた めの環境づくり	防犯体制の充実 現状・課題	現状では学校から携帯電話のアプリで 不審者情報のメールが来る。	教育委員会	C (参考):計画案を修正しない が、個別施策等の事業実施段 階で参考とするもの	H29年度から緊急連絡用として教育委員会で電子メール 連絡システムを契約し、各学校に利用してもらっています。
169	第6章第1節 安全な暮らしのた めの環境づくり	防犯体制の充実 提案・アイデア	町の中心部から離れると街灯もなくなり 暗いため防犯灯を増やして欲しい。	○町民生活課 地域整備課 総務課	D (対応困難):計画への反映が 困難なもの	各行政区における街路灯の設置基準が定められており、 現在、各行政区とも基準を満たしている状況です。増設を 希望する場合は各行政区での対応となりますので、総務 課の地域活動支援事業費補助金制度などを活用の上設置 をお願いします。

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
170	第6章第1節 安全な暮らしの ための環境づくり	防犯体制の充実 提案・アイデア	不審者への警戒心からか最近では子ども達に声を掛けても返事をしない子が増えている。知らない人とは会話をしないという考え方も理解できるが、知らない人を減らしていく多世代交流活動を増やしていくことが防犯面では必要と思う。	○町民生活課 教育委員会 全課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	安全な暮らしのための環境づくりに対するご意見として、今後の活動の参考にしたいと思います。
171	第6章第1節 安全な暮らしの ための環境づくり	交通安全の推進 現状・課題	通学路に道路を横断する箇所があるが横断歩道の表示がない。	地域整備課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	道路施設点検等を通じて、必要に応じて、軽米町交通安全推進協会から岩手公安委員会に設置要望をしたいと思います。
172	第6章第1節 安全な暮らしの ための環境づくり	交通安全の推進 提案・アイデア	スクールガードが居るのは朝のみなので、横断歩道はあったほうが良い。	地域整備課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	道路施設点検等を通じて、必要に応じて、軽米町交通安全推進協会から岩手公安委員会に設置要望をしたいと思います。
173	第6章第1節 安全な暮らしの ための環境づくり	交通安全の推進 提案・アイデア	町民体育館、軽米中学校、軽米高校周辺の道路が狭くて、児童や生徒が安心して登下校できていないように思う。車がすれ違うのがやっとなという所もあるし、危険な所が多い。簡単な話ではないが、(いちい荘のように)安全に登下校できる場所にいつか建ててほしいと思う。	地域整備課	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	高校周辺の県道二戸軽米線は、現在岩手県で整備に向けた測量を実施しています。その整備計画を踏まえ、接続する町道についても整備を検討します。
174	第6章第2節 快適な生活環境 の整備	住環境の整備 提案・アイデア	九戸村で整備された若者定住促進住宅のような公営住宅があると良い。入居した方にはぜひ消防団や地域活動に参加してもらいたい。	地域整備課	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	住環境整備を推進します。
175	第6章第3節 協働によるまちづ くりの推進	支え合うコミュニ ティ活動の促進 現状・課題	・地区行政組織は参加者の年齢層が高く、若い世代が参加しづらい状況となっている。 ・若い世代が中心となる子ども会も活動が減少しつつあり、ゴミ拾いやレクリエーションなど年に数回程度の活動となっている。 ・町ではさまざまなセミナーやサークル活動を行っているが、広報と防災無線のみの告知となっており、町外で働いている若い世代に情報が届いていないことが多い。	総務課	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	行政区活動における若い世代の参画を図るためのアイデアとして、参考にさせていただきたいと思います。また、若い世代向けに、SNSを中心とした多方面からの情報発信を推進します。

①No.	④総合計画素案 該当部分	⑤意見分類	⑥意見	⑦担当部署	⑧反映状況	⑩検討結果
176	第6章第3節 協働によるまちづくりの推進	支え合うコミュニティ活動の促進 提案・アイデア	町内のコミュニティ形成を促すヨガサークルや筋トレサークルなど男女別のサークルも良いが、親子で参加できるサークルも必要である。	○総務課 健康福祉課 教育委員会	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	若い世代のコミュニティ形成においても有効な方法だと思います。事業検討の際に、参考にさせていただきます。
177	第6章第3節 協働によるまちづくりの推進	支え合うコミュニティ活動の促進 提案・アイデア	1回だけのセミナーやスクールだと参加できないことが多いので複数回用意してもらえると若い世代も参加しやすい。	○教育委員会 ○健康福祉課 全課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	要望に応じて複数回の開催や、かるまいテレビ、ICTを活用したセミナー等の開催を検討します。
178	第6章第3節 協働によるまちづくりの推進	支え合うコミュニティ活動の促進 提案・アイデア	若い世代は広報に目を通さないことが多いが、学校からの連絡はしっかり目を通すので、学校からのお知らせの中に親子参加のイベントなどの告知があると良い。	○総務課 教育委員会 全課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	子どもや親子向けの新たな情報発信の手段として、有効に活用させていただきます。
179	第6章第3節 協働によるまちづくりの推進	支え合うコミュニティ活動の促進 提案・アイデア	若い人は町のイベントに参加しづらいと思うが、親子フリーマーケットのようなものを開催すれば、参加しやすいし、多世代交流にもつながるのではないかな。子どもも物を売るということやお金の勉強にもなる。	○総務課 教育委員会 全課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	子どもと一緒に楽しむことができる事業を検討していきたいと思います。
180	第6章第3節 協働によるまちづくりの推進	支え合うコミュニティ活動の促進 提案・アイデア	かるまい交流駅(仮称)を活用して、様々なイベント開催をすることで町の活性化も期待できると思う。	教育委員会 全課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	交流駅を核として、町の活性化につながるようなイベントを町民とともに開催し、協働によるまちづくりに努めます。
181	第6章第3節 協働によるまちづくりの推進	町民と行政が一体となったまちづくり 現状・課題	・学校で行われた地域懇談会にはPTAや育成会、民生委員など多くの町民が参加している。 ・地区行政組織に偏重した官民協働だと若い世代の参加が難しい。若い世代が地域で新しいことをやろうとしてもなかなか進まないことも多い。	総務課	C (参考):計画案を修正しないが、個別施策等の事業実施段階で参考とするもの	地区行政区にとらわれない組織、グループなどとの協働について検討したいと思います。
182	第6章第3節 協働によるまちづくりの推進	町民と行政が一体となったまちづくり 提案・アイデア	地域の枠を超えた若者のまちづくり活動の組織があっても良いと思う。	総務課 全課	B (趣旨同一):意見と計画案の趣旨が同一であり、計画案の修正が必要ないもの	上記に同じ。

